

令和7年度 本荘小学校 学校関係者評価書 その1「確かな学力」

項目	重点目標	評価の観点		評価者	目標 指数	結果	成果(○)と課題(△)	改善策・向上策	学校関係者評価
確かな学力	基礎的・基本的な学習内容を定着させる。	取組指標	学習内容や学力の定着のための指導や工夫に取り組んだ。	教職員	90	100	○児童、保護者、教職員ともに基礎的・基本的な学習内容を定着していると感じる割合が目標指数を上回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な学習内容を定着させるための指導や工夫した取り組みを継続する。 ・確認テストに向けて、児童が自分なりのめあてをもって学習を進められるよう、自主学習の充実を図る。 ・再テストを行い、軌跡を残すことで、児童の学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使用について保護者の理解、協力を得られるよう、検討していただきたい。 ・鉛筆を正しく持てない子が増えている。タブレットの使用が増えるともますます心配。
		成果指標	わたしは、確認テスト（漢字・計算）をがんばった。	児童	90	94			
		満足度評価	学校は、学習内容や学力の定着を図るための取り組みをしている。	保護者	90	98			
	わかる授業を目指した学習指導に努める。	取組指標	わかる授業を目指した学習指導に取り組んだ。	教職員	90	100	○児童、保護者ともに学習内容を理解していると感じている割合が目標指数を上回った。 △持ち帰ったタブレットを使い、家庭で課題に取り組むことができたと感じる保護者の割合が目標指数を下回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が分からないことを分かるようにするために、児童が学習の手段を選択できるよう、個に合わせた指導に努める。 ・全員が学習内容をわかっているかどうかを教師が把握するよう努める。 ・引き続き、授業におけるタブレットの有効活用に努める。 ・タブレットを効果的に使った家庭での課題について、今後検討していく。 	
		取組指標	タブレットの有効的な活用ができた。	教職員	80	100			
		成果指標	授業がわかる。	児童	90	98			
		成果指標	わたしは、タブレットを使った授業に意欲的に取り組むことができた。	児童	80	98			
		満足度評価	子どもは、学習内容を理解している。	保護者	90	90			
		満足度評価	持ち帰ったタブレットを使い、家庭で課題に取り組むことができた。	保護者	90	57			
	主体的な学びを意識した授業改善に努める。	取組指標	主体的な学びを意識した授業改善に取り組んだ。	教職員	90	100	○児童、教職員ともに目標指数を上回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に取り組める授業づくりを継続する。 ・教員が積極的に授業を公開し、授業研究に励み、互いに学び合う。 	
		成果指標	わたしは、授業に主体的に取り組んだ。	児童	80	95			
	自分の考えや思いを、表現することが楽しいと感じる児童を育てる。	取組指標	考えや思いを言葉で表現することが楽しいと感じる児童の育成に取り組んだ。	教職員	90	100	○児童、教職員ともに目標指数を上回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見や考えの交流の場を設けていく。 ・自分の考えや意見を表現するためにICTをさらに効果的に活用する。 ・異学年で意見や考えを交流できる場を設け、表現の幅を広げられるようにする。 	
		成果指標	考えや思いを発表したり、書いたりすることができた。	児童	80	94			

令和7年度 本荘小学校 学校関係者評価書 その2「豊かな心」

項目	重点目標	評価の観点		評価者	目標 指数	結果	成果(○)と課題(△)	改善策・向上策	学校関係者評価
豊かな心	いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。	取組指標	いじめの未然防止・早期発見・早期対応に適切に取り組んだ。	教職員	90	100	○教職員も保護者も、いじめのない学校づくりの目標指数を上回った。 △児童が「困ったことがあった時に、誰かに相談した」値が、目標指数を下回った。	・SOSの出し方教室や人権教育、児童、保護者へのアンケートを来年度も継続して行う。 ・子どもたちは困った時友達に相談することが最も多いため、子どもたち同士がピアサポートできるように、トレーニングを継続する。	・教職員が小さなことも見逃さずに対応しているのだと思う。今後も継続を願う。 ・年度途中から始まる校舎の改修工事による児童への支障がないように配慮を願いたい。
		成果指標	困ったことがあった時に、先生や友だちに相談した。	児童	90	82			
		満足度評価	学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めていた。	保護者	90	94			
	子どもたちが、学校を楽しんでいると思う教育活動を推進する。	取組指標	ピアサポートやにこにこタイム等「魅力ある学校づくり」に積極的に取り組んだ。	教職員	90	100	○みんなと何かをすることは楽しいと思える教育活動に職員一丸となって取り組んだことで、児童・教職員は目標指数を大きく上回った。保護者の満足度も目標指数を上回った。 △学校は楽しいと思う児童の評価が、目標指数を下回った。	・ピアサポート活動やSST、縦割り活動を来年度も継続し、思いやりを行動化できる児童を育てる。 ・学校での取り組みを引き続き、HPや学年通信等で発信する。 ・来年度も学校全体で「魅力ある学校づくり」の取り組みを進めていく。	・本荘こども園と本荘小学校はよく連携できている。 ・児童の作品を見ると、感性の豊かさを感じる。 ・自分にはよいところがあると思える児童の割合が増えるような手立てを取っていただけたらと思う。
		成果指標	学校は、楽しい。	児童	90	88			
		成果指標	みんなと何かをすることは楽しい。	児童	90	100			
		満足度評価	子どもは、楽しく学校に通っている。	保護者	90	94			
	友達と仲良くし、自他共に大切に育てる。	取組指標	「ありがとうカード」や「よい所みつけ」等、自他共に大切に育てる心を育てる指導や活動に取り組んだ。	教職員	90	92	○自分や友だちを大切にしていると回答した児童の割合が目標指数を上回った。 △自分にはよいところがあると思う児童の割合が昨年度および目標指数を下回った。 △子どもが自分のよさに気づいていると思う保護者の割合は、目標指数を下回った。	・各学級や教育活動のさまざまな機会をとらえ、「ありがとうカード」や「よい所みつけ」を継続する。 ・教育活動全体を通じて、自他共に大切に育てる。 ・「ありがとうカード」や「よい所みつけ」を保護者が見ることができるようにする。(掲示物等)	
		成果指標	友だちと仲よくし、自分や友だちを大切にした。	児童	90	98			
		成果指標	自分には、よいところがある。	児童	90	86			
		満足度評価	子どもは、自分のよいところに気がついている。	保護者	90	87			

令和7年度 本荘小学校 学校関係者評価書 その3「健やかな体」

項目	重点目標	評価の観点		評価者	目標 指数	結果	成果(○)と課題(△)	改善策・向上策	学校関係者評価
健やかな体	目標をもって運動に取り組む子を育てる。	取組指標	目標をもって主体的に運動するしかけと工夫をすることに取り組んだ。	教職員	90	91	△マラソンや縄跳びの練習に自主的に参加できない児童も見られた。 ○児童が運動に意欲的に取り組むことができる場と機会を設けることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・Qタイム等を利用した、児童の運動するしかけをさらに増やす。 ・縦割り班活動の充実を図る。(定期的な大なわ活動、Qマラソンの改善、高学年の様子を披露するなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の機関を利用して行われる情報モラル教育の教室に児童だけが参加するのではなく、保護者にも来ていただき、親子で一緒に学ぶようにするとよい。
		成果指標	Qタイムや昼休みに体を動かしたり、めあてをもってマラソンやなわとびの練習に取り組んだりすることができた。	児童	90	78			
		満足度評価	学校は、マラソンやなわとびを通じた運動にめあてをもって取り組む児童の育成に努めていた。	保護者	90	94			
	家庭と連携して、情報モラル教育を推進する。	取組指標	情報モラル教育では、児童への指導および家庭との連携を図ることができた。	教職員	90	92	△生活習慣チェック表を実施し、スマートルールを守って規則正しい生活を送る習慣づけを目指したが、児童、保護者ともに目標指数を下回った。 ○保護者の結果は目標指数は下回ってたが、昨年度の結果は上回った。家庭のスマートルールへの意識が高まったと考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談のときにスマートルールの協力について呼びかけていく。 ・C4thでスマートルールの重要性を呼びかけたり、講演会等で保護者への啓発活動を行ったりする。 	
		成果指標	スマートルールを守ろうという努力をした。	児童	90	81			
		満足度評価	子どもは、家庭で決めたスマートルールを守って、ゲームやスマートフォン等を使用している。	保護者	90	63			
	規則正しい生活習慣を定着させる。	取組指標	自分の健康は自分で守ろうとする意識づけを行うことができた。	教職員	90	100	△高学年が深夜までスマートフォンを使用している実態がある。 ○保護者の数値が目標指数を上回った。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣チェック表の中に歯磨きの項目を追加する。 ・「歯みがき」や「早寝・早起き・朝ごはん」の呼びかけを継続して行っていく。 	
		成果指標	わたしは「歯みがき」や「早寝・早起き・朝ごはん」ができた。	児童	90	77			
		満足度評価	子どもは、「歯磨き」「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。	保護者	90	86			

令和7年度 本荘小学校 学校関係者評価書 その4「家庭・地域との連携」

項目	重点目標	評価の観点		評価者	目標 指数	結果	成果(○)と課題(△)	改善策・向上策	学校関係者評価
家庭・ 地域との 連携	ふるさとを 愛する心を 育てる。	取組 指標	ふるさとを愛する心を育てる教育 活動に十分に取組んだ。	教職員	90	100	○教職員、児童、保護 者ともに目標指数を上 回った。学年に応じた ふるさと学習の効果と 考えられる。	・今後も、学年に応じたふるさと学 習を継続していく。 ・学習の振り返りを他学年が見られ る場所に掲示するとともに、発表の 場を設けて共有することで、学校全 体でふるさとへの愛着を深めてい く。	・今後もふるさと を愛する心を育て る取組と情報発信 の継続をお願いし たい。
		成果 指標	学校のまわりのことや、あわら市 内の学習に楽しく取組んだ。	児童	90	99			
		満足度 評価	学校は、ふるさとを愛する子を育 てようとしている。	保護者	90	96			
	教育活動を 積極的に家 庭・地域に 発信する。	取組 指標	情報の提供や発信に取組んだ。	教職員	90	100	○学校だよりや学校だ よりの配信、ホーム ページの更新を継続し た結果、目標数値を上 回った。 ○本校の教育活動に満 足していると回答した 保護者が目標数値を上 回った。	・今後も児童の個人情報に十分配慮 しながら、学校だよりの配信、ホー ムページの更新を行い、家庭・地域 に学校の取り組みや児童の様子を積 極的に伝えていく。	
		満足度 評価	学校は、学校やお子さんの様子を 家庭や地域に伝えている。	保護者	90	100			
		満足度 評価	本校の教育活動に満足している。	保護者	90	96			